施策番号	1301						
施策名	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり						
概要	社会のあらゆる場で子どもたちを共に育む実践の輪が広がるよう「子どもを共に育む京都市民憲章」の普及促進に取り組むとともに、全市・行政区・地域の各レベルの子育て支援ネットワークの連携の強化と協働した取組の展開を図る。						
担当局·部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部 共管局・部室						
上位政策	13 子育て支援						
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン(2015~2019)						

施策の評価

1 客観指標評価

	指標名		28年度			29年月	き評価		
				前回値	最新值	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	スマートフォンアプリ(京都はぐくみアプリ)のWeb アクセス数(件)	-	С	185, 922	202, 197	218, 000	92. 8%	b	0.50
2	地域子育て支援ステーション事業基幹ステー ション実施学区数(学区)	-	1	126	129	130	99. 2%	b	1.00
3	地域子育て支援拠点事業の利用人数(人)	а	a	624, 551	649, 111	624, 551	103. 9%	а	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	_	-	_	-	-	-	-	
		а	а	客	観指標	総合評	価	а	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

	設問		00年曲			29	年度回	答		
			28年度	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	子どもの見守り活動など,身近な地域 で子どもとの交流や子育て支援の取組		b	67	210	143	25	11	456	b
Ŀ	が進んでいる。			14. 7%	46.1%	31.4%	5.5%	2.4%	100	
2	-	_	-							-
3	-	_	_							_
4	-	_	_							_
5	-	_	_							-
		b	b		市民生	活実感	調査総	合評価		b

3 総合語	平価(客観指標総合	評価+市民生活実感	調査総合	評価)			
A	施策の目的が十分	た達成されている					
	重み付け	☑ 客観指標	а	□ 市民の実感	b		
えられるた	· —•·		の生活実感	に施策の効果が反!	央されにくいと考	28 年	Α
☑ b評価以		果が客観指標に表れてい	る。			· 度	
☑ b評価以	f) 市民生活実感調査 以上であり,施策の効 以下であり,次の原因	果が市民の実感に表れて	いる。			27 年度	Α

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

		事業費の物	犬況(千円)	29年度事務事業	
	事業名	28年度 決算額	29年度 予算額	評価結果における 目標達成度評価	担当局
1	民営保育所地域活動事業	11, 184	17, 138	良い	子ども若者はぐくみ局
2	地域子育て支援ステーション	46, 706	48, 053	かなり良い	子ども若者はぐくみ局
3	子どもを共に育む京都市民憲章の推進	12, 145	23, 130	普通	子ども若者はぐくみ局
4	京都やんちゃフェスタ	21, 913	23, 040	良い	子ども若者はぐくみ局
5	子どもの居場所づくり支援事業	0	23, 346		子ども若者はぐくみ局
6	中3学習会支援プログラム	9, 427	12, 704	かなり良い	子ども若者はぐくみ局
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15				ナトル弗及が塩池海畑に依て奴割	

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・京都はぐくみネットワークの活動を通じて各分野で実践行動を一層広げ、市民・地域ぐるみで子育てを
- 支え合い、子どもたちを健やかで心豊かに育むまちづくりを進める。 ・また、「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念を市民生活の中に浸透させ、これまで以上に子育て支援に関する機運を高めるため、スマートフォンアプリ「京都はぐくみアプリ」等による情報発信や、地域子育て支援ステーション事業、地域子育て支援拠点事業の実施などにより、子育て家庭を地域で支える取 組を進めていく。
- ・さらに、一人ひとりの子どもたちの学び・育ちを保障するとともに、子どもが安らぎ・育つ「家庭の子 育て力」を高めるため、新たに策定した「京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」に基 づき、社会全体で、子どもや青少年の貧困問題を解決する仕組みづくりに取り組んでいく。

施策名

1301

市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり

指標名 スマートフォンアプリ(京都はぐくみアプリ)のWebアクセス数(件)

担当課

育成推進課

連絡先

746 - 7610

1 指標の説明

スマートフォンアプリ(京都はぐくみアプリ)のWebアクセス数

2 指標の意味

子育て親子に対して情報発信できているかを示 す指標

3 算出方法・出典等

算出方法:当該年度末のWebアクセス数

出典:事業担当課調べ

4 数値

	前回数值	最新数值	推移		目標値	
	27年度	28年度	推修	数值	根拠	達成度
数値	185,922	202,197	16,275件増		京プラン実施計画 第2ステージに掲げる平成32年 度までの目標数値 (218,000件) を目標値に設定す る。	92.8%

	A = W = 4			l	中長期目標			
	全国順位	数値	目標年次	達成度	根拠			
数值	-	218,000	32年度	92. 8%	京プラン実施計画	第2ステージ		

備考

5 評価基準

最新数値が目標値に対し,

b:達成度90~100%未満, c:達成度80~90%未満,

d:達成度70~80%未満,

a:達成度100%以上,

e:達成度70%未満

6 基準説明

京プラン実施計画 第2ステージに掲げる 平成32年度までの目標数値 (218,000件)を 目標値に設定し、目標値に対する達成度を 評価基準とし、100%以上をa評価、100%未 満をb評価、90%未満をc評価、80%未満をd 評価、70%未満をe評価とする。

7 評価結果

27	28	29
_	C	b

指標名

地域子育て支援ステーション事業基幹ステーション実施学区数(学区)

担当課

育成推進課

連絡先

 $7\ 4\ 6 - 7\ 6\ 1\ 0$

1 指標の説明

地域子育て支援ステーションは、京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた子ども支援ネットワークの充実において、身近な地域レベルの子育て支援を担うこととしている。本事業の基幹ステーションは、各小学校通学区域の子育て支援ネットワークの構築を担うこととしており、今後、学区数が増加していくことが望ましいものである。

2 指標の意味

身近な地域での子育て支援ネットワークが構築 され,子育て支援が充実されていることを示す 指標

3 算出方法・出典等

算出方法:当該年度当初の実施学区数

出典:事業担当課調べ

4 数値

	前回数值	最新数值	 1 /2		目標値	
	27年度	28年度	推移	数値	根拠	達成度
数值	126	129	3学区増	130	平成32年度目標値達成のため,当該年度達成すべき 数値 (毎年度約4箇所)	99.2%

	A = W. 4				中長期目標	
	全国順位	数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	ı	146	32年度	88.4%	京プラン実施計画	第2ステージ

備考

5 評価基準

6 基準説明

該当年度の実施学区数が a: 新規実施4学区以上 b: 新規実施3学区 京プラン実施計画 第2ステージで掲げる平成32年度までの目標数値(146学 区)を達成するためには、各年度平均4

c:新規実施2~1学区 d:増減なし

e:減少

京プラン実施計画 第2ステージで掲げる平成32年度までの目標数値(146学区)を達成するためには、各年度平均4箇所の新規指定が必要であるため、新規実施4学区以上をa、以下1学区刻みで評価し、前年度を下回った場合をeとする。

7 評価結果

27	28	29
-	1	b

施策名

1301

市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり

指標名 地域子育て支援拠点事業の利用人数(人)

担当課 育成推進課 連絡先

746 - 7610

1 指標の説明

地域子育て支援拠点事業(一般型(つどいの広場・保育所)52箇所,連携型(児童館)131箇所)の利用人数。 地域の子育て中(主に乳幼児(0~3歳))の親子の交流促進や育児相談など,子育て家庭を地域で支える取組 を実施

2 指標の意味

身近な地域で子育て親子が交流する場の利用状 況を示す指標

算出方法・出典等

算出方法:各施設毎の利用者数

出典:事業担当課調べ

4 数值

·						
	前回数值	最新数值	 佐 429		目標値	
	27年度	28年度	推移	数値	根拠	達成度
数值	624,551	649,111	24,560人増	624,551	過去3年間の最高値	103.9%

		中長期目標			
	全国順位	数值	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考

評価基準

6 基準説明

最新の数値が過去3年間の

a:最高値以上

b:最高値未満~上中間値(最高値と平均値 の間) 以上

c:上中間値未満~平均値以上 d:平均値未満~下中間値(平均値と最低値

の間) 以上 e: 下中間値未満

過去3年間の数値を基に、過去3年間最 高値以上をa,平均値以上をcとし,最低値も含めた按分で基準を設定した。

最高値:624,551 (平成27年度)

平均值:605,044

最低值:569,083 (平成25年度)

7 評価結果

27	28	29
а	а	а